

令和4年度 岡山県農林水産総合センター-森林研究所（林業研究室）

試験研究課題評価結果票

<事後評価>

- 総合評価凡例 5：著しい成果が得られた 4：十分な成果が得られた
 3：一定の成果が得られた 2：見込んだ成果を下回った
 1：成果が得られなかった

番号	R4-事後-1						
課題名	シカ被害軽減に向けた防除技術の研究						
課題の概要	シカの生息密度が高い地域の拡大に伴い、取り組みやすい被害防止手法の要望が高まっており、その一つとして不嗜好性植物を利用した植栽木の防護手法を検討する。また、土砂流出等、自然災害に強い侵入防止柵の形状を検証するとともに、林内に設置された侵入防止柵の管理方法を検討する。						
評価結果	区分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	目標達成度	人	2人	3人	人	人	3.4
	有効性（効果）	人	2人	2人	1人	人	3.2
	有効性（目的以外の成果）	人	2人	3人	人	人	3.4
	効率性・妥当性（費用対効果）	人	1人	4人	人	人	3.2
	効率性・妥当性（計画）	人	人	5人	人	人	3.0
	成果の活用・発展性	人	2人	3人	人	人	3.4
	総合評価	人	3人	2人	人	人	3.6
助言・指摘事項等	<p>1 手引書の作成、公開を行っており、今後の手法普及それに伴う改良が期待できる。</p> <p>2 シカ被害軽減に向け、今回までの侵入防護柵の設置及び管理体制も確立し、防護対策としての不嗜好植物による植栽木保護技術の確立が急がれる。</p> <p>3 立木を支柱にしたより安価な方法が考案されるなど、各地でより合理的な方法が開発されつつある状況にあることから、今後はそれらを取り込みつつ性能とコストとのバランスのとれたシカ防除技術の開発を目指していただきたい。</p> <p>4 得られた成果の妥当性を強く主張できるよう、可能な統計解析などを実施した上で学術誌での論文公表を期待する。</p> <p>5</p>						